

洪水予測システム — 洪水氾濫 —

■ 洪水氾濫について

- 洪水とは、豪雨などによる河川の増水・氾濫により引き起こされる自然災害で、河川堤防の決壊などにより河川の水が氾濫することにより引き起こされる**外水氾濫**と、放流先河川の水位上昇などによる排水不良により堤防内の水があふれることにより引き起こされる**内水氾濫**の2つがあります。
- 平成17年に行われた水防法の改定により、洪水予報河川及び水位周知河川の浸水想定区域内の市町村では浸水想定区域図の作成が義務付けられており、住民の方の防災意識高揚に役立っています。

予測技術を活用し、監視機能も備えた防災システム

洪水予測システム

- 降雨観測および予測データと河川の観測水位をもとに、洪水予測シミュレーションを行い、河川氾濫や堤防を溢水した場合の氾濫計算を行い、浸水範囲および浸水深を算出する

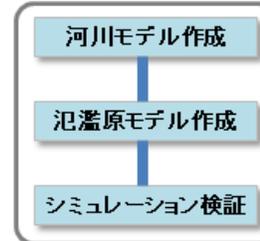
特徴

- 氾濫実績のシミュレーションによる再現計算による氾濫原モデルの検証を実施
- 観測雨量および予測雨量の自動取得
- 氾濫原モデルは、内水氾濫を考慮したモデルや、非構造格子モデルにも対応

開発言語

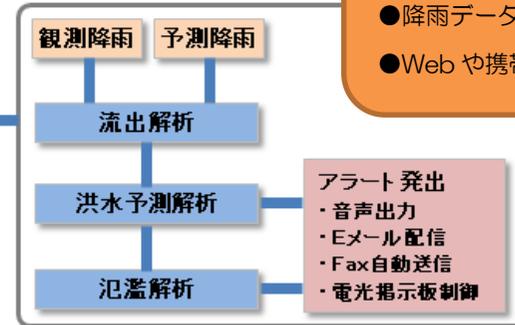
- Visual Basic/JAVA/C 等

〔プレ処理〕



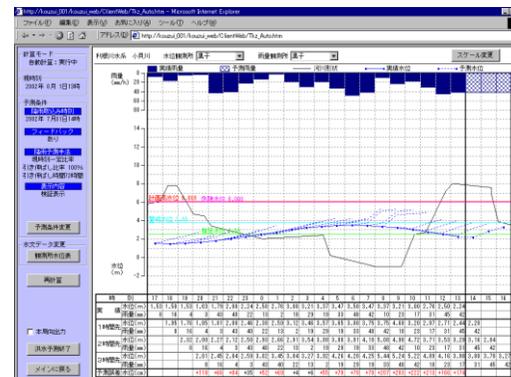
洪水予測システムの概要

〔防災システム〕

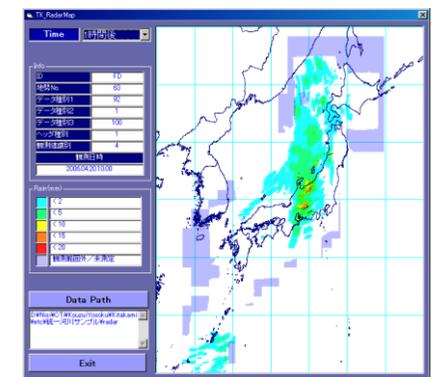


機能

- リアルタイム予測システム
- 降雨データの自動取得
- Web や携帯に配信



水位予測グラフ



レーダー降雨量